## 三地区亀戸学童少年野球連盟 大会規程

球場	型間23m、投本間16mとする。
試合回数	6回とする。雨天、荒天時の成立回数は5回とする。
試合時間	A戦、B戦ともに1時間30分とする。
コールド	4回10点、5回7点とする。
タイプレイク	ノーアウトー・二塁、継続打順で行う。最大2回まで行い、なお同点の場合は引き分けとする。
<i>y</i> 1 <i>y</i> 1 <i>y</i>	1日70球とする。制限の範囲内で再登板を認める。ダブルヘッダーの場合は、投球数を引き継ぐも
投球制限	のとする。
投手	B戦のみ4年生以下の投手を認める。この場合、投本間は16mとし、投球制限は1日60球とする。
登録	  選手、監督(背番号30)、コーチ2名(背番号29、28)はあらかじめ登録された者とする。選手の
	  登録は25人までとする。登録用紙が不足する場合は、複数枚提出すること。
用具	ヘルメットを8個以上用意すること。各用具はJSBB公認のものとすること。ヘルメット、マスクに
	  はSGマークが付いていること。キャッチャーはファウルカップを含め、フル装備であること。た
	  だしブルペンの場合は、ファウルカップを着用しなくてもよい。
スポーツ保険	選手、監督、コーチはスポーツ保険に加入のこと。
	2024年4月以降、ベンチ内にJSBB公認学童コーチ、又は同等の有資格者を1名以上置くこと。
公認学童コーチ	2024年度の経過措置として、所定の講習を修了し、登録の申請を行った者は、有資格者と同等と
	して扱う。
ベンチ	先攻を三塁側、後攻を一塁側とする。先後はあらかじめリーグ表にて定める。
ベンチ内	ぶいてカレコも 7 のは ~配工 ・野叔 ・コ・イクク・コ・コ・コ・センバック しよっ ・ 吹や パ
	ベンチ内に入れるのは、選手、監督、コーチ2名、スコアラー、代表、給水係2名とする。監督が スカの場合は、コーチのと公理監督を記しまること、選手が0人に決たない。又は監督、コーチが
	不在の場合は、コーチから代理監督を選出すること。選手が9人に満たない、又は監督、コーチが
	全て不在の場合は棄権とする。熱中症対策等のため、給水係を2名を超えて許可する場合がある。
服装	選手、監督、コーチは統一されたユニフォームであること。ロングパンツのユニフォームは禁止
	とする。選手、監督、コーチ以外は、ユニフォームを着用しないこと。ベンチ入りするスコア
	ラー、代表者は、指導者としてふさわしい服装とすること。
電子機器	記録の目的で、電子機器(パソコン、スマホ等)1台をベンチ内に持ち込むことを認める。ただ
	し、記録以外(撮影、インターネット等)の目的で、電子機器を使用してはならない。電子機器
	で記録を行う者は、スコアラーとして扱う。
撮影	ベンチ内、又はベンチ後方からの撮影を禁止する。
メンバー表	  メンバー表の提出は、第1試合は試合開始予定時刻の30分前、第2試合以降は1時間前までとする。
試合前の練習	試合前の練習が行えるのは、選手、監督、コーチのみとする。試合前の練習において、バットの
	使用は認めない。
暴言、体罰の禁止	監督、コーチ、その他応援者等による暴言、体罰を禁止する。該当した場合は、直ちに当該チー
	ムの監督を退場の処分とする。
選手への指示、指導	選手に指示、指導できるのは、当該チームの監督、コーチのみとする。ベンチ外からの指示、指
	導を禁止する。 「時間」が計画である。
抗議権	監督、当該選手のみとする。ボール・ストライク、アウト・セーフ、フェア・ファウルに関する
	抗議は認めない。
変化球の禁止	変化球を禁止する。変化球に対してはボールの宣告をし、1回目は注意、2回目以降は交代とす
	る。変化球か否かは、球審の判断するところによる。
	監督のタイム(守備中に監督がタイムを取って選手に指示等する行為)、守備のタイム(野手が
タイム	複数集まって協議等する行為)、攻撃のタイム(監督がタイムを取って打者、走者に指示等する
	行為) は、それぞれ3回までとする。タイブレイクの際は、2イニングにつき、それぞれ1回ずつと
	する。1イニングに監督のタイムを2回行った場合は、投手を交代させること。
その他	上記以外の事項については、公認野球規則、競技者必携、アマチュア野球内規の各最新版の定め
	るところによる。